

6. 評価の観点
 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
 (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の運営にあたっては法令等を遵守し、区所管課と密に連絡をとっている。また、防災相互協力協定を町会と結び合同防災訓練を実施するなど、防災に対する意識も高い。全般的に適切な施設管理が行われている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	地域との連携強化に努めており、地域ボランティアの施設への参加等協力体制が構築されている。運転手の体制、送迎ルート等を見直し、一日の登録者数を増やすことできたため、施設利用率・利用人数とも昨年度実績を上回り、概ね良好な事業運営がなされている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	感染症流行時には手すり等の消毒をし、快適な施設環境を整えた。また、送迎車が安全に出入りできるよう、ガードレールを短いものに変更した。設備の定期点検を実施し、適切な施設維持管理を行っている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
19 / 20 点	シルバーカー等の置き場所を変更し、安全な導線を確認したり、食事に関するアンケートを毎日実施するなど、利用者ニーズの把握に努め、昨年度減少した利用率は88.4%に回復した。一方で満足度は88%と昨年度より2%低下したので、改善の余地はある。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	厨房エアコン工事期間中、調理員の派遣を止め職員の早出で対応したことにより、委託料を削減できた。昨年度を上回る利用率が達成できたので、収支状況も改善している。全体的に適切な予算管理がなされている。

(6) 優れた取組み <加点項目> <small>※点数上限：10点</small>	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
5 点	引き続き炭酸泉による足湯を実施し、利用者の安眠・頻尿改善等に効果が出ている。毎月利用者懇談会を開催して意見を伺い、満足度の向上につながっている。

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

極めて良好 (104 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>地域との連携強化に努めており、利用者が近隣の住民と交流する機会を確保している。また、自主的な取組みである足湯が好評を得ており、今後も利用者のニーズに応えられる体制作りを構築する。全体として良好な運営がなされている。</p>	<p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>利用者満足度の更なる向上を図る必要がある。</p>
-----------------------------------	--	--